

出前あすなろ塾

8/19市原市（小学校・中学校）



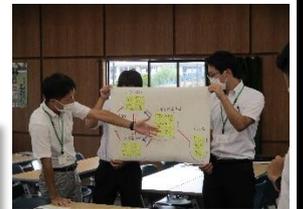
「出前あすなろ塾」で2学期のよいスタートを！

夏休み最終日の8月19日(水)に「市原市教育会館」で、出前あすなろ塾が行われました。

午前中は、小学校の先生方39名、午後は中学校の先生方11名が参加し、夏休み明けによいスタートが切れるようにと、大変前向きに研修に取り組んでいました。

○ 研修1 学級づくりのポイント～保護者との関係づくり～

言葉遣いと礼節、授業参観や懇談会の活用、保護者への連絡、PTA活動への参加など、保護者との関係づくりのポイントを学びました。後半は、演習を通して保護者の訴えを「事実・推測・要望」に分け、構造化した上で対応する方法など、実践的研修を行いました。



○ 研修2 授業づくりのポイント

～資質・能力を育む

「主体的・対話的で深い学び」の授業づくり～（小学校）

～生徒指導の機能を生かしたわかる授業づくり～（中学校）



（小学校）

新学習指導要領に示されている「資質・能力」についてグループで話し合い、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善の必要性について考えました。演習を通して、一人一人の実践をもとにグループで意見を共有しながら、今後の授業づくりへ向けてのきっかけを掴みました。



（中学校）

「自己決定」「自己存在感」「共感的人間関係」の生徒指導の三つの機能を生かした授業づくりのポイントを再確認しました。また、思考ツールを活用して、共通の課題で、同世代の先生方が一緒に考え、情報交換をしました。



参加者の声

日々の学校生活の中で、保護者対応や生徒指導に生かしていきたい。また、授業の中で、子供たち一人ひとりを育成していくことをさらに意識していきたいと思う。

思考ツールを用いての話し合いは、自分の頭の中を整理したり、因果関係を考えたりしながら意見を発表することができ、大変やりやすかった。子供たちの話し合いにも活用していきたい。



教員2年目になり、実際に1年過ごしてみて、授業づくりや保護者対応の難しさを目の当たりにした。自分自身の言動を振り返りながら講義を受けることができよかった。



「教師の発問の仕方」で子供の学びが変わるというのを聞き、教師自身が発問に対してもっと学びを深めないといけないと思った。今後に生かしていきたい。

他校の先生の取り組みや、講師の先生の実際にあつた体験談を聞くことができ、とても勉強になった。



グループでの話し合いでは、自分が考えていたことと他の人の考えが共通するところが多くあり、自信になった。

